



# 心のチャンピオン

重点目標「思い」「挑戦」「高め合い」

小笠東小学校  
学校だより 6月号  
令和8年6月1日



←東小ニュースも  
見てください

## 笑顔とハイタッチではじまる東小の一日

7時40分、昇降口が開くと待ち構えていた子どもたちが、元気よく「おはようございます。」と言いながら教室へ向かいます。昇降口の外では、教頭先生が一人ひとりに声をかけながら、笑顔で子どもたちを迎えます。笑顔で、そしてハイタッチで挨拶を返す子どもたち。今年度が始まって2か月が経ちましたが、日に日に笑顔と元気がパワーアップしているように感じられ、大変うれしく思います。「ペコリあいさつを大切にしていこう」という子どもたちの思いもあると思いますが、家庭での朝の時間を気持ちよく過ごし、送り出していただけっているからなのではないかと思えます。ありがとうございます。

もう一つ、うれしい姿をお伝えします。「自分たちのひまわりを守りたい」という思いから、話し合いを行い、決まったことを行動に移した3年生。「給食の時に放送をしてもいいですか？」と代表の数名が校長室に交渉に来ました。「すごくいいことだね。ぜひ放送して呼びかけて。」と回答しました。3年生が全校に放送で呼びかける経験は滅多にありません。とっても勇気がいることです。きっと放送本番はドキドキしたことでしょう。私は教室で残りの3年生と共に放送を聞いていましたが、聞いている3年生ですら「緊張する」と言っていました。勇気を振り絞って全校放送に挑戦した仲間を拍手で迎えた3年生。みんなで決めたことを実際に行動に移し、認め合う姿に心を打たれました。これはまさに高め合いの姿でした。週が変わり、6年生がリレーのバトンパスの練習を、5年生が二人三脚の練習を、それぞれ昼休みに行いたいと昼の放送を入れました。今後も自分たちの思いを行動に移していく挑戦が増えていくことを期待しています。



## 笑顔いっぱいの学校に！

学校の重点目標「思い 挑戦 高め合い」に向けて教育活動を進めていくにあたり、安心できる環境こそが何よりも大事だと考えています。授業で自分の意見を発言するにも、やりたいことを実行するにも、「何か言われるのではないか…」といった不安があったら行動には移せません。思いが発信できる環境、やりたいことに挑戦できる環境、つまり安心して生活できる環境を築いていきたいと考えています。挑戦して目標を達成できた時ややり切った自分に満足した時に、人は自然と笑顔になります。挑戦を友達や先生に認められたり褒められたりしたときにも笑顔になります。そんな子どもたちの笑顔がたくさん見られる学校にしていきたい。そのような願いから職員室前の廊下に「笑顔いっぱいの学校」掲示版を設置しました。子どもたちの笑顔の写真をたくさんたくさん貼っていききたいと思います。

